



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日  
東

上場会社名 株式会社メディカルシステムネットワーク 上場取引所  
 コード番号 4350 URL https://www.msnw.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 平島 英治 (TEL) 011-613-7750  
 経理財務本部長  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	91,891	6.6	5,098	△5.7	2,573	△16.1	2,623	△13.8	1,445	△14.7
2024年3月期第3四半期	86,175	5.2	5,406	19.5	3,069	30.9	3,044	21.8	1,693	41.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,502百万円(△13.2%) 2024年3月期第3四半期 1,730百万円(40.0%)

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	49.44	—
2024年3月期第3四半期	56.11	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	73,821	16,359	22.1	557.20
2024年3月期	68,149	15,219	22.3	519.06

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 16,286百万円 2024年3月期 15,171百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2025年3月期	—	6.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	5.8	6,440	△8.0	3,000	△21.7	3,000	△21.6	1,250	△32.8	42.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2社 (社名) (株)メディロジネット、除外 (株)太陽、  
(有)たけうち薬局、 (有)たけうち薬局 4社 (社名) (有)たけうち薬局、  
(株)コスモス薬局、  
(株)山形アポテック

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	30,642,600株	2024年3月期	30,642,600株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	1,414,055株	2024年3月期	1,414,055株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	29,228,545株	2024年3月期3Q	30,178,545株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。また、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式を自己株式に含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における我が国の経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復がみられるものの、継続する物価上昇や金融政策の見直しによる懸念等もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済情勢のもと、当社グループは誰もが自分らしく、安心して暮らしていくための医療インフラを構築し、生涯を見守る「まちのあかり」として健やかな暮らしに貢献することを目指しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、医薬品ネットワーク部門において新規加盟件数が順調に推移したものの、地域薬局部門における既存店処方箋枚数の減少や医薬品仕入れ価格の上昇、賃上げ等の影響により、売上高は91,891百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益2,573百万円(同16.1%減)、経常利益2,623百万円(同13.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,445百万円(同14.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

#### ①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、地域薬局の運営、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、医薬品の製造販売及びLINEを活用したかかりつけ薬局化支援を行っております。

地域薬局部門におきましては、前期の新規出店及びM&Aにより取得した店舗の業績が寄与したこと、LINE公式アカウント「つながる薬局」を用いた処方箋送信機能等のDX活用や服薬期間中のフォロー等の効果もあり、調剤報酬が前年同期を上回りました。また、当第3四半期連結累計期間において、モール型店舗9店舗を含む、地域薬局17店舗を新規出店し、M&Aにより地域薬局1店舗を取得する一方、14店舗の閉鎖及び事業譲渡を行いました。2024年12月31日現在の店舗数は、地域薬局455店舗、ケアプランセンター1店舗、ドラッグストア8店舗となりました。

医薬品ネットワーク部門におきましては、地域単位で医薬品の在庫情報を共有するサービスや各種研修の提供等、サービスの拡充を進めており、新規加盟件数は順調に推移いたしました。2024年12月31日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ455件、一般加盟店10,282件の合計10,737件(前連結会計年度末比981件増)となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、2024年12月31日現在、52成分117品目を販売しております(出荷調整中の品目数は3成分6品目)。当第3四半期連結累計期間における新規取引店舗数は順調に推移し、2024年12月31日現在の取引店舗数は、前年同期末比2,148店増の6,562店舗となりました。

デジタルシフト部門におきましては、令和6年度調剤報酬改定への対応ニーズの高まりから導入店舗数は順調に増加し、2024年12月31日現在の導入店舗数は5,823店舗(前連結会計年度末比1,141店増)となりました。

一方、前期に複数の呼吸器感染症が流行した反動により地域薬局部門で既存店の処方箋枚数が減少したことや医薬品の仕入れ価格が上昇したこと、賃上げ等による労務費の増加があったこと、また、当期より事業を開始した物流部門の準備経費を当セグメントに含めたことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は87,815百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益4,420百万円(同11.0%減)となりました。

#### ②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、建築業務における受注案件が増加したことやサービス付き高齢者向け住宅ウィステリアにおいて広告宣伝費を見直したこと等により、売上高は2,625百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益188百万円(同46.1%増)となりました。

また、サービス付き高齢者向け住宅の2024年12月31日現在の入居状況につきましては、「ウィステリア南1条」は全116戸中91戸(入居率78.4%)、全4棟の入居率は89.0%となりました。

なお、2024年10月1日付でウィステリア千里中央を売却したため、固定資産売却益326百万円を計上しております。

③給食事業

本事業に関しましては、前期に不採算施設を撤退した影響により売上高は前年を下回ったものの、契約単価の見直しによる売上総利益率の改善等から、売上高は1,768百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益1百万円（前年同期は営業損失24百万円）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っており、訪問件数が増加したこと等により、売上高は261百万円（前年同期比10.1%増）、営業損失17百万円（前年同期は営業損失30百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は73,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,671百万円増加しました。

流動資産は26,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,505百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金並びに商品が増加したこと等によるものであります。固定資産は47,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円の増加となりました。主な要因は、のれんが減少したものの、投資有価証券及び差入保証金が増加したことによるものであります。

負債の部は57,461百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,530百万円の増加となりました。流動負債は26,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,742百万円の増加となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は30,504百万円となり、前連結会計年度末に比べ788百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金及び退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては、16,359百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,140百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月31日に公表した連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,273	10,723
売掛金	4,239	5,599
債権売却未収入金	1,078	1,106
調剤報酬等購入債権	423	468
商品	5,404	6,849
原材料	16	22
仕掛品	38	20
貯蔵品	81	85
その他	1,231	1,421
貸倒引当金	△14	△18
流動資産合計	20,773	26,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,996	12,812
土地	9,290	9,339
建設仮勘定	325	212
その他(純額)	5,723	6,004
有形固定資産合計	28,336	28,369
無形固定資産		
のれん	10,613	9,676
ソフトウェア	594	745
その他	73	66
無形固定資産合計	11,281	10,489
投資その他の資産		
投資有価証券	184	698
差入保証金	3,419	4,103
繰延税金資産	3,339	2,941
その他	835	960
貸倒引当金	△19	△20
投資その他の資産合計	7,759	8,683
固定資産合計	47,376	47,542
資産合計	68,149	73,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,935	13,892
短期借入金	588	1,797
1年内返済予定の長期借入金	5,122	5,700
未払法人税等	999	261
賞与引当金	1,689	887
役員賞与引当金	86	14
その他	3,791	4,402
流動負債合計	23,213	26,956
固定負債		
長期借入金	18,309	18,739
役員退職慰労引当金	691	687
役員株式給付引当金	278	290
退職給付に係る負債	4,534	4,831
その他	5,902	5,955
固定負債合計	29,716	30,504
負債合計	52,930	57,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	937	946
利益剰余金	13,100	14,183
自己株式	△882	△891
株主資本合計	15,284	16,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	29
繰延ヘッジ損益	2	3
退職給付に係る調整累計額	△134	△113
その他の包括利益累計額合計	△112	△80
非支配株主持分	47	73
純資産合計	15,219	16,359
負債純資産合計	68,149	73,821

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	86,175	91,891
売上原価	50,292	53,713
売上総利益	35,882	38,178
販売費及び一般管理費	32,813	35,604
営業利益	3,069	2,573
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
業務受託料	46	48
設備賃貸料	106	102
補助金収入	38	126
雑収入	80	58
営業外収益合計	275	341
営業外費用		
債権売却損	44	71
支払利息	221	202
雑損失	34	18
営業外費用合計	300	292
経常利益	3,044	2,623
特別利益		
固定資産売却益	13	337
事業譲渡益	27	40
その他	-	5
特別利益合計	41	382
特別損失		
固定資産除却損	15	8
減損損失	5	223
店舗閉鎖損失	6	7
その他	3	5
特別損失合計	31	244
税金等調整前四半期純利益	3,054	2,761
法人税、住民税及び事業税	1,114	875
法人税等調整額	238	414
法人税等合計	1,352	1,290
四半期純利益	1,701	1,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,693	1,445

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,701	1,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	10
繰延ヘッジ損益	△1	1
退職給付に係る調整額	19	20
その他の包括利益合計	29	31
四半期包括利益	1,730	1,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,722	1,476
非支配株主に係る四半期包括利益	8	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,069	2,087	1,780	237	86,175	—	86,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	472	0	—	510	△510	—
計	82,105	2,560	1,781	237	86,685	△510	86,175
セグメント利益 又は損失(△)	4,965	129	△24	△30	5,039	△1,970	3,069

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,970百万円には、セグメント間取引消去208百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,178百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	87,776	2,086	1,767	261	91,891	—	91,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	538	0	—	578	△578	—
計	87,815	2,625	1,768	261	92,470	△578	91,891
セグメント利益 又は損失(△)	4,420	188	1	△17	4,593	△2,019	2,573

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,019百万円には、セグメント間取引消去205百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,225百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	1,490百万円	1,669百万円
のれんの償却額	846百万円	855百万円